

◆ ゆまに学芸選書 ULULA 5 ◆

満蒙開拓団のさきがけは、1932年の
東京のルンペン開拓団であり、最後の開拓団も
1945年東京の疎開開拓団であった……。

多くの悲劇を生んだ満蒙開拓団のなかで、その史実が空白となっていた東京からの開拓団を追った本格的な研究。5年の歳月をかけ、書籍、新聞はもちろん公文書まで調査し、また聞き書きを加え、東京からの満蒙開拓団の全貌をあきらかにする。

● 著 ● 東京の満蒙開拓団を知る会 (代表・今井英男)
● 解説 ● 加藤聖文 国文学研究資料館助教

社会福祉団体が牽引した「天照園移民」、エリート養成を目指した「満洲鏡泊学園」、宗教団体が関わった「多摩川農民訓練所」、大量移民期に対応する「東京府拓務訓練所」、新島の「分村」、女性の立場から見た「大陸の花嫁」、戦時体制の被害者である「転業開拓団」、戦争末期に現れた「青少年義勇軍」、「報国農場」、空襲被災者の「疎開開拓団」、幻の「小河内村開拓団伝説」など、多くの事実を発掘。

東京村建設の希望者拓士・花嫁募集
東京村建設の希望者拓士・花嫁募集の募集要項は、東京府拓務課(現東京都福祉政策課)の募集要項(昭和7年)を参照。
場所 満洲国新設(現吉林省)に在る地帯に在りし
資格 満洲国新設(現吉林省)に在る地帯に在りし
人員 拓士 五十名、花嫁 十五名
特典 拓士 毎月 五十円、花嫁 毎月 三十円
申込場所 東京府拓務課(現東京都福祉政策課)
東京府・東京商工會議所



同時発売
ゆまに学芸選書 ULULA 6
菊と葵
[著] 田中 剛
後水尾天皇と徳川三代の相克



東京

四六判/上製力バー装
ISBN978-4-8433-3940-4 C1321
定価 1,800円 (本体 1,800円)

満蒙開拓団

2012年
8月刊行

※ULULA：ラテン語で「フクロウ」のこと。
ゆまに書房 YUMANI SHOBUN
<http://www.yumani.co.jp>
〒101-0047 千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493

● 広告予定 ● 全国紙、地方紙、雑誌など。

申込書 (貴店印)	申込締切 7月25日	部	【題】東京の満蒙開拓団を知る会	定価 1,890円 (本体 1,800円 + 税 5%)	ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493	年 月 日
	刊新誌	ゆまに学芸選書 ULULA 5 東京満蒙開拓団				
	ISBN978-4-8433-3940-4 C1321					